

旅館・ホテル業の労働災害をなくそう!!

群馬労働局管内における旅館・ホテル業で発生した休業4日以上の労働災害は、年間平均38人が被災しており、直近の令和7年では、平年を上回る状況となっています。



図-1 旅館・ホテル業の労働災害発生年別推移

発生月別では、**12月**及び**1月**が大変多く（図2）、事故の型別では、**「転倒」**が最も多くなっています（図3）。

12月及び1月は繁忙期であること、雪や凍結による影響で通路が滑りやすくなっていることが要因として挙げられます。

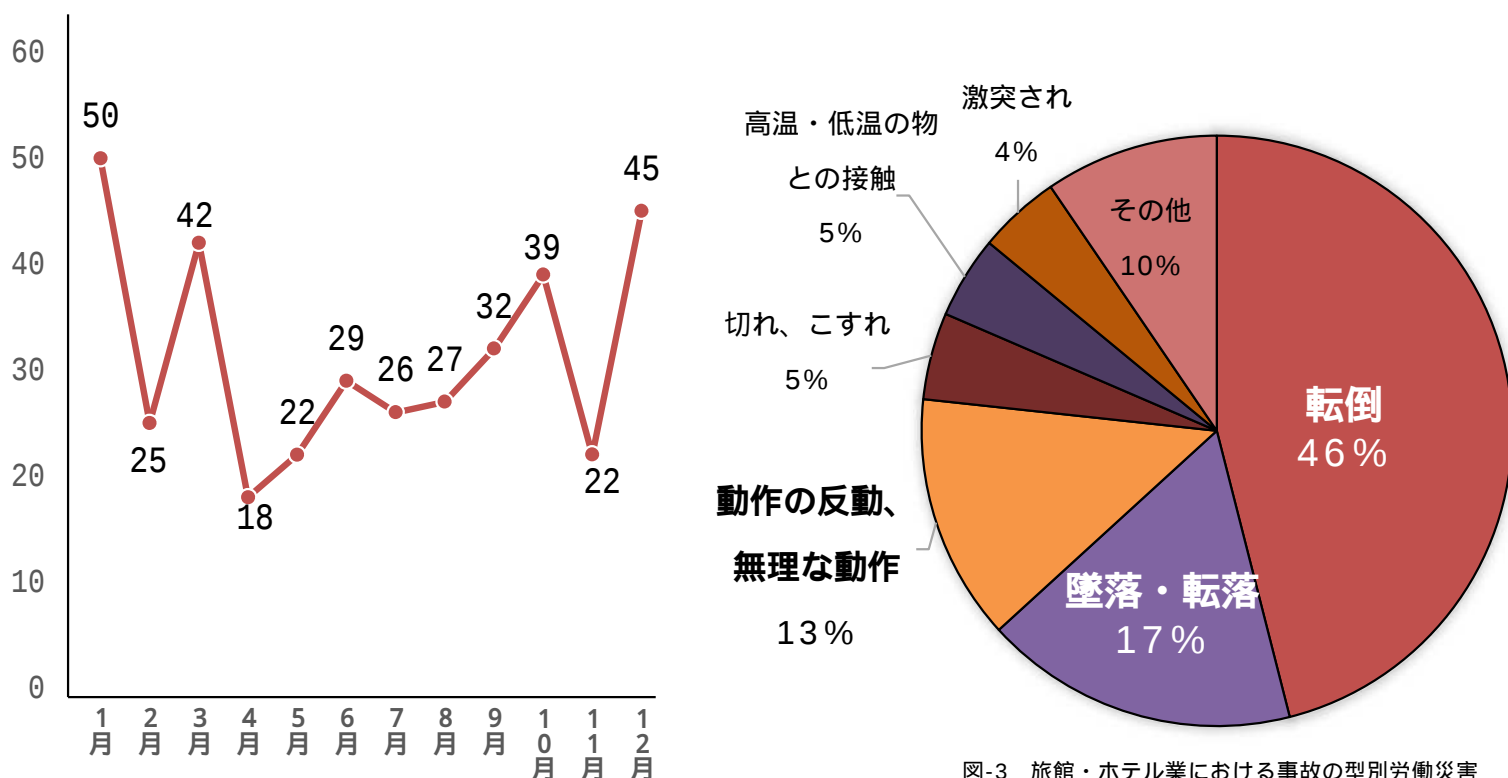


図-2 旅館・ホテル業における月別労働災害発生状況
(平成28年～令和7年の合計)

図-3 旅館・ホテル業における事故の型別労働災害発生状況 (平成28年～令和7年)

年齢別では、**60歳以上**が全体の**半数以上**を占めています
(図4)。

要因としては、働く高年齢者が多いことに加え、加齢による筋力や平衡感覚、視力の低下などが考えられます。

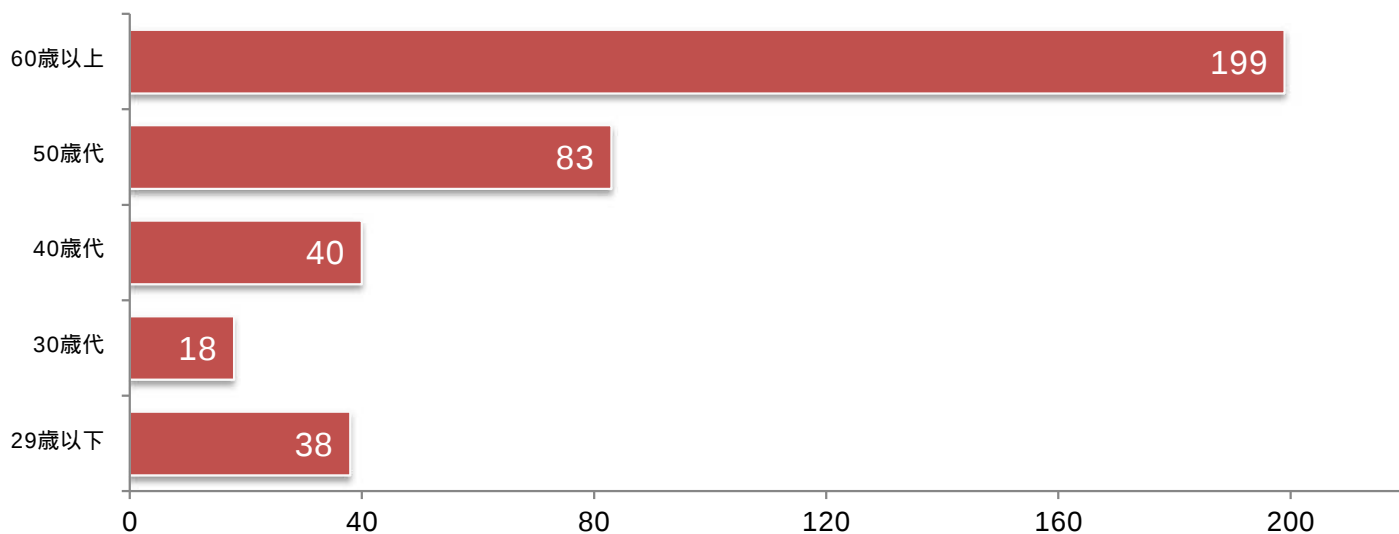


図-4 旅館・ホテル業における年代別労働災害発生状況
(平成28年～令和7年の合計)

転倒災害は防げる災害です
しっかりと対策を講じて、転倒災害を防止しましょう



たかが「転倒」と侮るなかれ!
あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて



厚生労働省HP
「転倒災害の防止」